

	二元施設	一元化施設
概要	○旧健科Cビルを改修し、公衛研を単独移転	○旧健科Cビルまたは環科研を改修し、面積不足分は増築 ○あるいは、府有地または市有地に新施設を整備
	(1) 二施設で運営 環科研の改修は行わない (2) 部門別集約 環科研の大規模改修が必要	
メリット	・公衛研移転の作業を再開【整備期間】	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統や機能面で統合が可能【機能】 ・機能強化が可能（BSL3、精度管理室、健康危機情報管理室等）【施設】 ・施設・設備面での効率的な運営が可能【設備】 ・ランニングコストの効率化が可能【効率化】
	・当面の費用は公衛研単独移転のみ	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統の合理化が図れない ・施設の規格による制限あり【機能】 ・基本料金などの二重化【非効率】 	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の状況、住民への説明等により、着工に時間を要する恐れ【整備期間】
	・環科研は築42年が経過しており、約15年後には老朽化に伴う施設の建替等の再整備が必要	



新研究所が果たす役割や機能を発揮するために担保すべき指揮命令系統や将来的な費用対効果等を考慮し、施設形態は「一元化施設」として整備すべき